



## パケット キャプチャの設定

---

- [パケット キャプチャについて, 1 ページ](#)
- [パケット キャプチャの制約事項, 2 ページ](#)
- [パケット キャプチャの設定 \(CLI\) , 2 ページ](#)

## パケット キャプチャについて

AP が正常に動作中に、ワイヤレス ネットワークにおける音声およびセキュリティなどの問題を解決するには、分析の AP からのパケットをダンプする必要がある場合があります。パケットが FTP サーバにダンプできます。分析用のパケットのダンプするこのプロセスは、パケットキャプチャと呼ばれます。クライアントのパケットキャプチャを開始または終了するためにコントローラを使用します。次のタイプのコントローラ CLI を使用して、キャプチャする必要のあるパケットのタイプを選択できます。

- 管理パケット
- 制御パケット
- データ パケット
  - Dot1X
  - ARP
  - IAPP
  - All IP
  - 一致するポート番号を持つ UDP
  - DHCP
  - 一致するポート番号を持つ TCP
  - マルチキャスト フレーム
  - ブロードキャスト フレーム

パケットは、ビーコンとプローブ応答を除き、パケットの到着順または送信順にキャプチャおよびダンプされます。パケットキャプチャには、チャンネル、RSSI、データレート、SNR およびタイムスタンプなどの情報が含まれています。各パケットは、APからの追加情報に付加されます。パケットヘッダーだけをダンプまたはパケットをフルダンプのいずれかを選択できます。

次に、パケットキャプチャの注意事項を示します。

- FTP転送時間がパケットレートより遅い場合、一部のパケットはキャプチャファイルに表示されません。
- バッファにパケットが含まれていない場合、接続を維持するために、既知のダミーパケットがダンプされます。
- ファイルは、一意のAPとコントローラ名とタイムスタンプに基づいて、各APのFTPサーバに作成されます。FTPサーバがAPによって到達可能であることを確認します。
- FTP転送が失敗した場合、またはFTP接続がパケットキャプチャ中に失われた場合、APは、パケットのキャプチャを止め、エラーメッセージおよびSNMPトラップによって通知し、新しいFTP接続が確立されます。

## パケットキャプチャの制約事項

- パケットキャプチャは、1つのクライアントに対してのみ有効にできます。
- コントローラ間ローミングには、この機能はサポートされていません。クライアントがローミングするAPまたはコントローラがわかる場合は、CLIを使用して、新しいコントローラのクライアント用のパケットキャプチャまたはAPを設定できます。
- 無線配信中にすべてのパケットがキャプチャされるわけではなく、無線ドライバに到達するものだけがキャプチャされます。
- デフォルトでは、パケットキャプチャの処理は10分後に停止します。ただし、パケットキャプチャを1～60分の範囲でいつでも停止するように設定できます。

## パケットキャプチャの設定 (CLI)

- 
- ステップ 1** 次のコマンドを入力して、パケットキャプチャ用にFTPパラメータを設定します。  
**config ap packet-dump ftp serverip ip-address path path username user\_ID password password**
- ステップ 2** 次のコマンドを入力して、パケットキャプチャを開始または停止します。  
**config ap packet-dump {start client-mac-address ap-name | stop}**
- ステップ 3** 次のコマンドを入力して、パケットキャプチャのバッファサイズを設定します。  
**config ap packet-dump buffer-size size-in-kb**
- ステップ 4** 次のコマンドを入力して、パケットキャプチャ時間を設定します。

```
config ap packet-dump capture-time time-in-minutes
```

有効な範囲は 1 ～ 60 分です。

**ステップ 5** 次のコマンドを入力して、キャプチャされるパケットのタイプを設定します。

```
config ap packet-dump classifier {arp | broadcast | control | data | dot1x | iapp | ip | management | multicast |  
{tcp port port-number} | {udp port port-number}} {enable | disable}
```

**ステップ 6** 次のコマンドを入力して、切り捨て後のパケット長を設定します。

```
config ap packet-dump truncate length-in-bytes
```

**ステップ 7** 次のコマンドを入力して、パケットキャプチャの状態を確認します。

```
show ap packet-dump status
```

**ステップ 8** 次のコマンドを入力して、パケットキャプチャのデバッグを設定します。

```
debug ap packet-dump {enable | disable}
```

---

